



おひさま

発行：茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会
 責任者：木下 操／茅ヶ崎市民児協会長
 編集者：眞壁 章／茅ヶ崎市民児協副会長
 〒253-8686
 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1
 茅ヶ崎市役所福祉政策課市民児協事務局
 ☎0467-82-1111

●茅ヶ崎市在宅高齢者実態調査を実施します●

この調査は、平成8年度に開始され、平成12年度の2回目以来3年ごとに行われており、令和3年度に9回目を行う予定でした。しかしながら令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、令和4年度に9回目の調査を行います。

※新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、延期等の対応を行う可能性があります。

- 1 調査実施主体：茅ヶ崎市高齢福祉介護課・茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会
- 2 調査対象者：(1) 75歳以上で平成30年度調査の対象でなかった方
(2) 79歳以上のひとり暮らし高齢者の方
- 3 調査方法：民生委員・児童委員が訪問し、聴き取り調査を行う。
- 4 調査期間：令和4年6月15日～令和4年7月31日

どんな目的で調査を実施するの？

ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等の状況を把握し、その情報を民生委員・児童委員、地域包括支援センターと共有し、日ごろの見守り・安否確認等を促進するとともに、緊急時の対応等に活用する目的で実施します。(調査で知り得た個人情報には日頃の見守り安否確認等の目的以外には利用しません。)



ちがさ真珠
えぼし麻呂

令和4年度はどのように調査するの？

令和4年度の調査は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した上で実施します。民生委員・児童委員が対象者のご自宅に直接訪問し、調査票に基づいて聴き取りを行います。(電話またはインターホン越しでの聴き取り等の場合もあります。)新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対象者と調査項目を縮小しています。



調査員
ミーナ

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会の活動紹介

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会では、市民の皆様から頼られる委員になれるよう、高齢者、障がい児者、児童に対する福祉向上のため、それぞれに関する知識や相談スキルの習得を目指し、各専門部会を設け、活動をしています。その活動をご紹介します。

< 高齢福祉部会 >

ここ2年強コロナ禍により部会の活動は大きく縮小や中止になりました。そのような状況下の昨年度は、全体研修会を2回に分けて実施をしました。実施日は7月15日と11月11日です。茅ヶ崎市役所の高齢福祉介護課を中心に、包括支援センターのご協力により開催に至りました。7月実施のテーマは「茅ヶ崎市の認知症についての取り組み」、「介護保険制度について」です。包括支援センターの職員7名で、認知症について理解しやすい寸劇も行っていただきました。11月は、認知症の予防に役立つ「コグニサイズ」を参加者全員で体験しました。今後部会員は、この研修会で得た学習を、地区活動と担当地域の活動に少しでも生かしていければ、幸いです。



< 障がい福祉部会 >

～ 学びたい気持ちを大切に ～

安心安全に活動するために基本はいつも同じです。検温、マスク、手洗い、換気、密にならない等々です。遵守しながら代表者会、役員会を対面で実施しました。事業計画の変更が続く中、障がい福祉部会は知りたい、聞きたい、考えたいと意欲を持って取り組みました。7月に障がい者に対する民生委員の関わり方を、市の障がい福祉課から講師を招いて学びました。9月に発達障がいについてのDVDによる研修会、11月にパラリンピック金メダリストの講師を招いて、心のバリアフリー推進についての講演会を行いました。広い会場の時は他部会の視聴希望者も集まり、出席者は感想文を提出し、まとめを読むことで様々な考え方を知り、更に深い学びとなりました。学びたい気持ちが結集した1年でした。ありがとうございました。



民生委員制度創設100周年
記念事業として
「しだれ桜」と「記念プレート」
を市へ寄贈しました

< 児童福祉部会 >

児童福祉部会は、主に児童福祉について主任児童委員と共に教育委員会、家庭児童相談室等々の関係機関と情報交換を行い、こどもの虐待や貧困、ヤングケアラーなどの現状を把握して、各地区の民生委員児童委員、主任児童委員が子育て中の家庭に貢献できる知識を得ています。

< 主任児童員連絡会 >

茅ヶ崎市には各地区2名ずつ、計26名の主任児童委員がいて、0歳～18歳までの子どもや子育て家庭に関する支援活動を行っています。コロナ禍で、小中学校の行事への参加や子育てサロンの開催ができない状況が続いていますが、「こんにちは赤ちゃん訪問」のお手伝いは継続しています。これは、生後4か月未満の赤ちゃん（第2子以降）がいるご家庭を訪問し、市の事業や地域の情報を伝えると共に、身近な相談者がいることを知らせる活動です。親子で集って仲間作りをしたり、おしゃべりすることが難しい昨今、気になる事や心配事がある時はお気軽にご相談ください。

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動紹介



新任の民生委員・児童委員として委嘱された当初からコロナ禍に見舞われました。定期的な家庭訪問ができず当惑しておりましたが、趣味の絵手紙を活かそうと考えました。年賀状、暑中見舞い等、季節毎に30枚程を支援者中心にポストイングしています。何の見返りも期待していませんのに意に反し、お返しのハガキや、お電話を頂くようになりました。何だかほんのりと嬉しい気持ちになります。サロンで仲良くなったご婦人方からも早く再開して欲しいとの要望もあります。私も楽しみにしているサロン、今年はどうなりますか！（鶴嶺東地区 服部功司）



～ 地域に根ざした思いやりを ～

小和田地区には、一昨年6階建て市営小和田住宅外複合施設が新設され、その中に「地域包括支援センター青空」「地区ボランティアセンター」「児童クラブピノキオ」がまとまって入っていて福祉にはとても活動しやすい地域です。保育園も9園と多く、その内4園が最近新設されました。最近ではコロナ禍で定期的な活動が少なくなっていますが、「子育てサロン」の利用者様への電話連絡・チラシ・コロナ対策グッズの配布をしています。又、地区住民のお母さんからも『自分の子育てがひと段落したので在宅で「子育てサロン」を開設したい』と話があり、こんな時期だからこそ親子の居場所を提供して下さる方がいらっしゃる事をとても嬉しく思います。これからも出来る限り子育てに役立つ場の情報共有や支援を行っていきたいと考えています。（小和田地区 主任児童委員 加古玲子、徳丸香織）



～ コロナ禍で思うこと ～

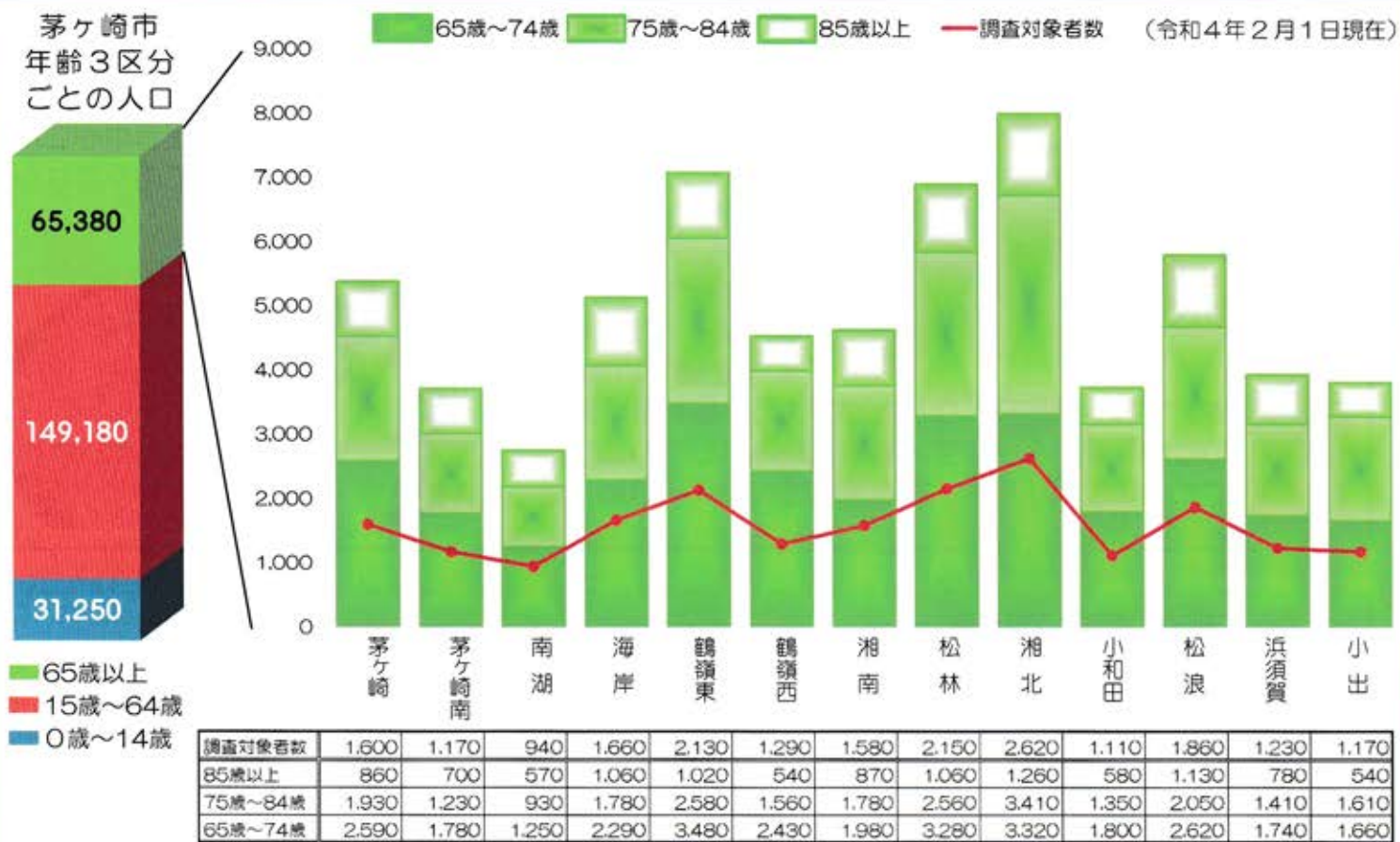
昨年、コロナが落ち着いていた頃に、小出コミセンで開催されたコグニサイズに参加しました。コグニサイズとは、コグニション（認知）とエクササイズ（運動）を合わせた造語です。参加したコグニサイズは、脳と身体の機能を維持向上させ認知機能の低下を抑制するエクササイズです。これが結構難しい。なかなか上手くできず、最後に「イエ～イ」と言って両手を挙げて達成感だけ味わいました。「イエ～イ」と皆で叫んだ時、会場は笑いに包まれていました。

出来ても出来なくても、みな存分に楽しんだようです。後日、自宅で反復するうちにエクササイズは上手くなりましたが、しかしそこには笑いはありません。昨今、様々なことが画面越しに行われていますが、一緒に集うことで生まれるものもあります。コロナ禍でのリモート生活を常としてはならないと云うことを肌で感じた出来事でした。（小出地区 阿久津真佐子）



茅ヶ崎市高齢者の地区別、年代別人口と在宅高齢者実態調査対象者数

(今号のグラフは、在宅高齢者実態調査に合わせ、地区別高齢者の世代別人口と調査人数を推計しました)



【茅ヶ崎市役所からのお知らせ】

福祉総合相談担当を設置しました！

市役所分庁舎2階、3番窓口の福祉政策課内に福祉総合相談担当を新設しました。

「どこに相談したらよいかわからない」「まずは聞いてほしい」「お金のことで悩んでいる」といった困りごとや、「困っている人がいて相談を受けた」「よくわからないけれど心配な家がある」といった地域での困りごとの相談を伺う担当です。市役所での相談だけでなく、お住まいの地域に積極的に伺います。



2つの機能が
あります！



相談先が
わからない...

| | |
|---------|---|
| 総合相談チーム | <ul style="list-style-type: none"> ◎日常生活に関することで、相談窓口がどこなのかわかりにくい相談や複合的な相談を担当します。 ◎担当者1地区2名で担当します。 |
| 自立支援チーム | <ul style="list-style-type: none"> ◎福祉総合相談担当内に生活自立相談窓口を併設し、生活困窮に関する相談を担当します。 ◎自立相談支援、家計改善、就労支援、子ども支援の担当相談員がいます。 |